

■ 中学生593名、来校す ■

今週月曜日に、中学生対象の体験入学を開催した。いわゆるオープンキャンパスである。中学生が本校教育の一端を体験することで、進路選択の参考としてもらおうと企画している。総勢593人の中学生。ありがたいことに、近隣だけでなく多くの中学校から参加いただいた。

受付を終えた中学3年生たちは、体育館へ。歓迎の挨拶、吹奏楽部ミニコンサートが終われば、2つのグループに分かれて、体験授業と学校の説明を受け、さらに希望者は、部活動見学へと進む。

体験学習は全11講座、松尾芭蕉や徒然草など古典に触れるものや、化学実験、世界遺産を扱うものや和菓子作りまでバラエティーに富む。ある数学の先生は、「中学生がこんな考え方をするなんて！」と驚いていた。



多くの在校生も、受付、案内、誘導などで手伝ってくれた。中学生を迎えれば表情が緩む。でもすぐに、先輩らしい振る舞いが自然に出て、いつもより凛々しく見えた。

本校は3年計画の校舎改修工事の2年目である。昨年度改修された南棟は、すばらしくきれいになった。工事は授業への支障が最小限になるように、夏休みに集中して行っている。そのため、体験入学では、参加中学生に不都合な思いをさせてしまった。入学していただければ、美しくなった校舎を使ってもらえることになる。どうかご容赦願いたい。

ハード面の向上とともに充実させなければならないのは、ソフト面である。野々市市は、住みたい自治体で上位に位置する。少子高齢化の日本、ほとんどの自治体が人口減少にあえぐ中、野々市市では小学校の校舎の増築が進む。若い人が移り住むからである。

ならば、野々市市で唯一の高等学校である本校は、中学生にとって進学したい高校のひとつとして支持されたいと希望する。「入学してよかったと思ってもらえる学校」になるように、これからも生徒と職員全員で学校づくりに尽力していきたい。来春、希望に目を輝かせて、入学してくる中学生たちのためにも。